

第 72 期 株主通信

2019年6月21日～2020年6月20日



企業理念・業績ハイライト

“今まで世の中になかったものを”

「独創的な商品を開発し、新たな文化の創造をもって社会に貢献する」

この経営理念に、キングジムの商品開発姿勢が示されています。

新しい発想を大切に、市場にイノベーションを引き起こすべく積極的な活動を展開しています。

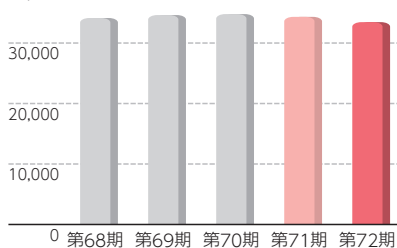


Point

- インテリアライフスタイル事業で減収
主に新型コロナウイルス感染症の影響により減収
- 売上高の減少により、営業利益、経常利益は減益
固定資産売却益の計上等により、親会社株主に帰属する当期純利益は増益

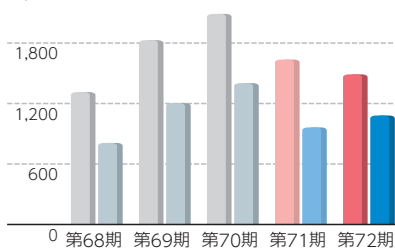
売上高

(百万円)



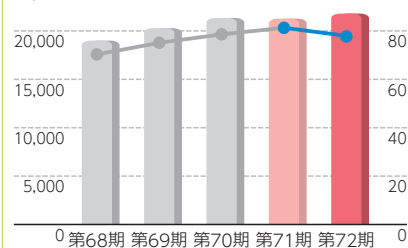
経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円) ■：経常利益 ■：親会社株主に帰属する当期純利益



自己資本・自己資本比率

(百万円) ●：自己資本比率 (%)



ごあいさつ



代表取締役社長

宮本 彰

目標達成に向け、引き続き 全社的な努力を続けてまいります

平素より当社グループ事業へのご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

ここに当社グループの第72期（2020年6月期）における営業のご報告をお届けするとともに、当社グループ事業の特色および今後の事業展開についてご説明させていただきます。ご高覧いただければ誠に幸いに存じます。

当期の業績と事業経過について

当期におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により急速に悪化しており、先行きについても極めて厳しい状況が続くと見込まれます。

このような状況のもと、当社グループは感染予防策をとることでお客様や従業員の安全を図りつつ、新たな需要を獲得できるように積極的な新製品投入を行いました。

ステーションリーにおきましては、2015年の発売以来、ご好評をいただいている「テフレーヌ」シリーズに華やかな表紙柄の「テフレーヌ スタイル」とビジネス向けモデル「テフレーヌ ビズ」を発売し、ラインアップ拡大を図りました。また、便箋風のデザインをあしらったふせん「便箋ふせん」を発売いたしました。

電子製品におきましては、スマホで操作できる手のひらサイズのラベルプリンター「テブラ」Lite LR30や、広幅テープに対応し大量印刷に適した最上位モデル、ラベルプリンター「テブラ」PRO SR-R7900Pを発売した他、訪日外国人とのコミュニケーションに活用できる翻訳機「ワールドスピーク」に据置型とポータブルタイプの2機種を発売いたしました。また、増加していくシニア市場をターゲットとした新ブランド「arema（アレマ）」を立ち上げ、「集音器」や「お手元スピーカー」等を発売いたしました。

この結果、当期の売上高は334億5,527万円（前期比2.5%減）となりました。利益面では、売上高の減少が響き、営業利益は12億3,259万円（前期比11.6%減）、経常利益は14億8,944万円（前期比9.0%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に過年度法人税等を計上したことにより、当期は前期に比べると法人税負担が減少し10億8,167万円（前期比12.3%増）となりました。

ウインセス(株)をグループ会社化した狙い

当社は2020年1月に香川県高松市にある作業用手袋の製造・販売を行っているウインセス(株)および(有)ウインズ（2020年4月1日付で合併し存続会社はウインセス(株)）の株式を取得し、子会社化いたしました。当社およびウインセス(株)は販売面での補充関係など、相互の経営資源を有効に活用して企業価値を向上させ、事業拡大を目指します。

次期の見通しについて

日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により景気動向や雇用・所得環境の急激な変化を受け、同感染症の収束に向けて消費の段階的な回復が期待されるものの、先行きの不透明感が強まっております。世界経済においても、消費の冷え込みはしばらくの間継続するものと考えられます。

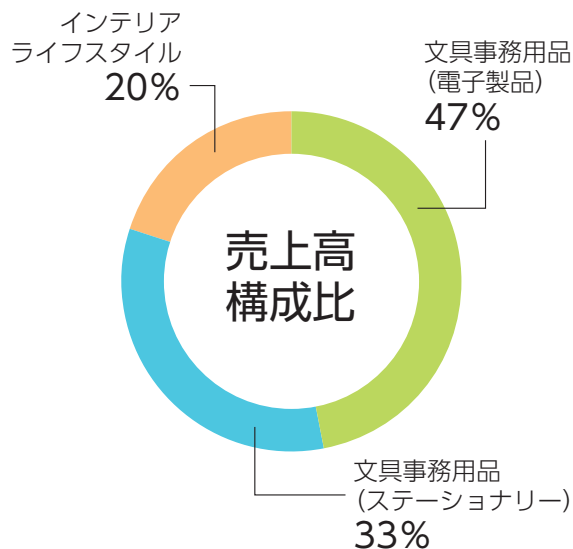
当社グループでは新年度に入り、クラウドファンディングサービスを活用し、多くの支援者から賛同をいただいたデジタルノート「フリーノ」を市場に本格導入いたしました。また、アクティブシニア向けのブランド「arema（アレマ）」の新製品として、日付と曜日が大きく表示される「デジタル日めくりカレンダー」を発売し、新たな顧客層を開拓してまいります。これらの製品に加え、ステーションリーにおいても新たな発想に基づく製品を上市し、市場の創出・拡大を実現いたします。また、インテリアライフスタイル事業においては、世の中のニーズとトレンドに沿った製品を企画・開発し、業績の拡大を目指します。

なお、新型コロナウイルス感染症についても、当社グループはテレワークや時差勤務の推奨、WEB会議の推進等に取り組み、開発面においても、新しい生活様式に対応した新製品を積極的に市場に投入するように努めてまいります。

上記施策により、次期におきましては、売上高は350億円（前期比4.6%増）、営業利益は12億7,000万円（前期比3.0%増）、経常利益は14億9,000万円（前期比0.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は10億3,000万円（前期比4.8%減）を計画しております。

事業別の概況

文具事務用品事業の売上高は267億3,548万円(前期比0.1%減)、営業利益は、販売費及び一般管理費の増加により12億1,641万円(前期比10.4%減)となりました。インテリアライフスタイル事業は、主に新型コロナウイルス感染症の影響により、売上高が前年割れし、売上高は67億1,978万円(前期比11.1%減)、営業損失は474万円(前期は1,491万円の営業利益)となりました。



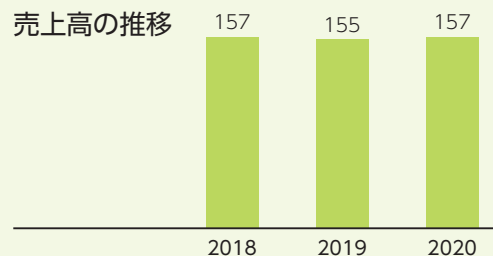
文具事務用品 (電子製品)



売上高

157 億円 (前期比101.5%)

売上高の推移



【主な取扱商品】

テプラ・ポメラ・ワールドスピーク・集音器・お手元スピーカー・扉につけるお知らせライト・エアフィット など

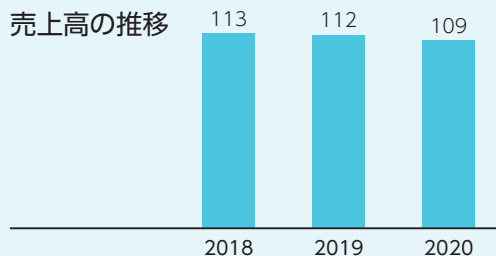
スマホで操作できる手のひらサイズのラベルプリンター「テプラ」Lite LR30や、広幅テープが使用でき、大量印刷に適した「テプラ」PRO SR-R7900Pを発売いたしました。その他、施設やホテルなどの業務で使える翻訳機「ワールドスピーク」の据置型とポータブルタイプを発売いたしました。また、アクティブシニアをターゲットとした新ブランド「arema(アレマ)」を立ち上げ、「集音器」やテレビの音声が手元で聞ける「お手元スピーカー」などを発売いたしました。オフィス環境改善用品では、扉の向こう側に人がいることをお知らせする「扉につけるお知らせライト」に無線タイプを追加発売した他、梱包材を必要な分だけ作成できるエアクッションメーカー「エアフィット」を発売いたしました。

文具事務用品（ステーションナリー）



売上高

109 億円（前期比97.6%）



【主な取扱商品】

キングファイル他、事務用ファイル・テフレーヌ・カキコ・コンパックノート・フラッティ・便箋ふせん・おおきめシール など

2015年の発売以来、ご好評をいただいている「テフレーヌ」シリーズに華やかな表紙柄の「テフレーヌ スタイル」とビジネスマン向けモデル「テフレーヌ ビズ」を発売し、ラインアップ拡大を図りました。その他、書類をホルダーに入れたまま書き込むことが可能な「カキコホルダー」を発売しました。また、『HITOTOKI(ヒトキ)』ブランドのラインアップ拡大として、便箋風のデザインをあしらったふせん「便箋ふせん」や、手帳を華やかにデコレーションする大きめのサイズのフィルムシール「おおきめシール」を発売しました。

インテリアライフスタイル



株式会社 ぼん家具
BON FURNITURE CO., LTD.

asca

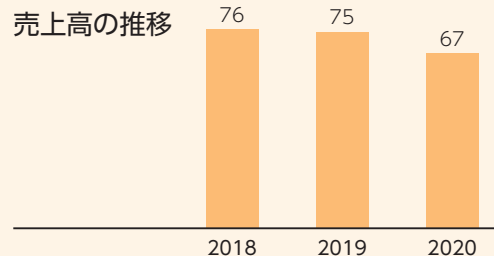


LADONNA



売上高

67 億円（前期比88.9%）



(株)ぼん家具では、巣ごもり需要やテレワーク需要の増加に応じて、収納用品やデスク・チェア用品を中心に拡販に努めてまいりました。(株)ラドンナでは、かき氷器やファン、流しそうめん器などの季節商材の投入を積極的に行くと同時に、男女問わずお使いいただける白黒のベーシックなカラーとデザインの「NEUTRAL」ブランドを立ち上げ、販路拡大に努めました。その他、「Toffy 焼肉プレート」や「Toffy ハンド&ボトルブレンダー」など、Toffyキッチン家電の拡充を行いました。また、(株)アスカ商会では、オフィスや公共スペースに多用していただけるグリーン商品の拡充を図るとともに、好調な観葉植物のラインアップを強化し、拡販を図ってまいりました。

トピックス

ウインセス(株)をグループ会社に

当社は、2020年1月にウインセス(株)の株式を取得し、グループ会社化いたしました。これまで、2001年に(株)ラドンナ、2003年に(株)Gクラッセ(現在は(株)ラドンナと合併)、2008年に(株)アスカ商会、2014年には(株)ぼん家具をグループ会社化し、それぞれの事業の拡大や顧客基盤を活用してまいりました。ウインセス(株)は、豊富な作業用手袋のラインアップと、他社が扱わないニッチな製品で製造現場に向けた販売を行っております。今後もグループ各社の経営資源を有効に活用することによって企業価値を向上させ、事業拡大を目指してまいります。



※ウインセス(株)の子会社化による2020年6月期の連結財務諸表に与える影響は軽微であり、現時点での重要性が乏しいため、連結の範囲には含めておりません。

キングジムがシニア市場に参入『arema(アレマ)』

近年、日本では高齢化が急速に進んでおり、その中でも趣味や消費活動に積極的な65～75歳は「アクティブシニア」と呼ばれています。

当社はこれまでの製品開発で培ったノウハウを活かし、アクティブシニアの前向きな暮らしをサポートする新ブランド『arema(アレマ)』を立ち上げました。「ささやかな工夫は、特別。」をコンセプトに、これまでに「集音器」「自分まとめファイル」「お手元スピーカー」など7製品を発表しました。今後も継続的に新製品を展開し、シニア市場の獲得を目指してまいります。

arema
暮らしに“あれま”の驚きを



Information 「テプラ」ラベルデザインの公開

当社の主力製品の1つであるラベルライター「テプラ」をより便利にお使いいただくことを目的に、PC接続可能な「テプラ」のラベルデザインを無料でダウンロードできるコンテンツを、公式ホームページ内に公開しました。

また、新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的に、「新しい生活様式」「手を洗いたくなるシール」「感染症対策」といったカテゴリのデザインも追加しています。

「テプラ」ラベルデザインはこちら：<https://kingjim.jp/labeldesign/>





新製品

対話型翻訳機「ワールドスピーク」HYK100

2台1組で使う、据置型の翻訳機です。2台をペアリングし、会話ボタンを押しながら本体に向かって話すと、もう1台の端末に翻訳結果が表示されます。8.0インチの大画面で見やすく、アクリル板などで仕切られた場所でも使用できるため、施設やホテルなどの窓口業務に最適です。

(2019年7月発売)

新製品

ラベルプリンター「テプラ」Lite LR30

「テプラ」初のスマートフォン専用モデルで、手のひらサイズのコンパクトな本体が特長です。本体とスマートフォンをBluetooth®で接続し、専用アプリを使ってラベルを作成します。文字や画像を自由に配置できるため、直感的な操作でラベルを作成できます。また、自分だけのオリジナル似顔絵の作成や、スマートフォンで撮影した写真もラベルに挿入できます。

(2019年8月発売)



新製品

二つ折りリングノート「コンパックノート」

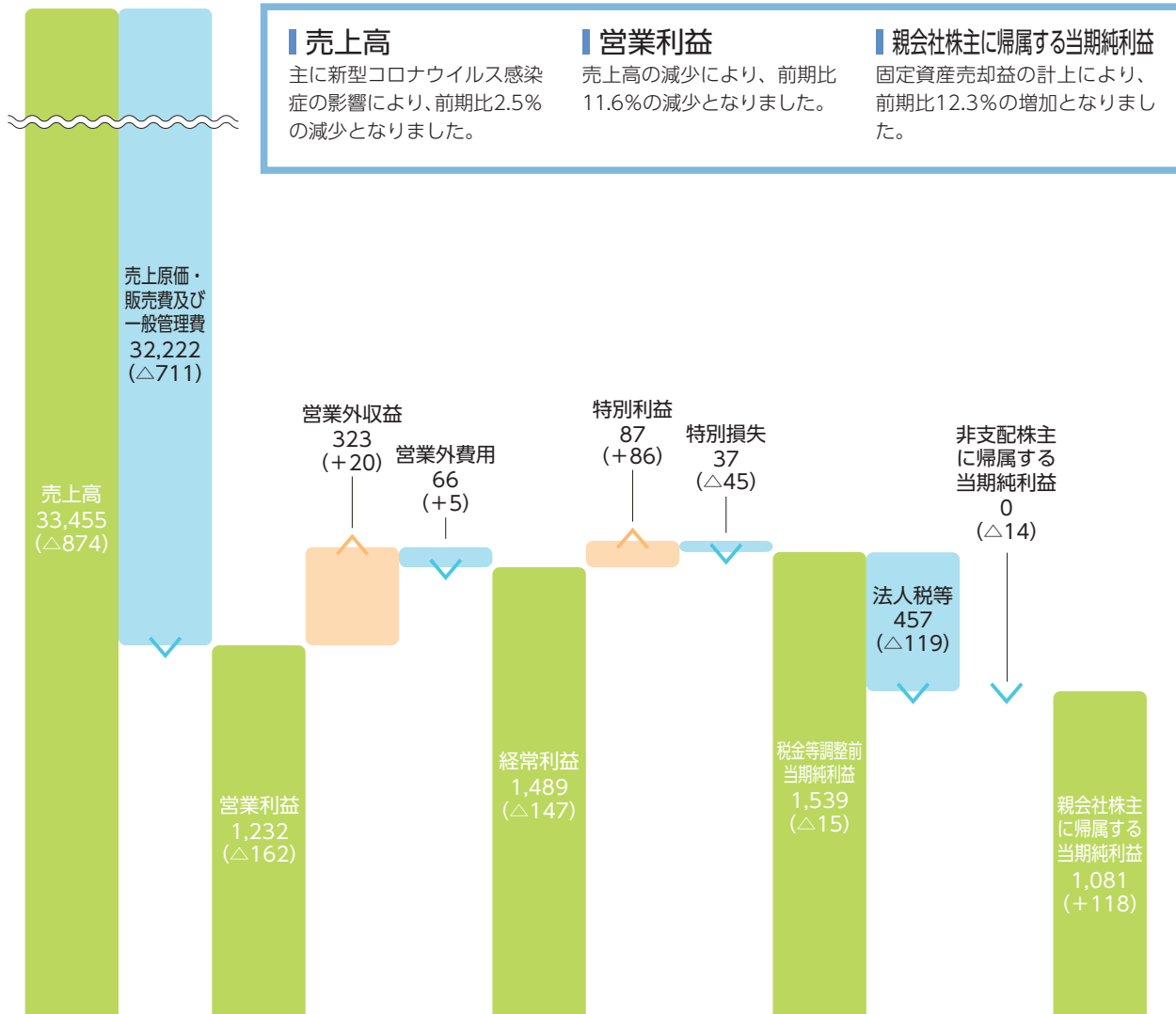
書類を二つ折りにしてコンパクトに持ち運べる「コンパック」シリーズに、ルーズリーフを綴じたまま半分に折って持ち運べる「コンパックノート」を追加しました。ノートに書き込む時は大きく使え、持ち運びや収納する際は半分のサイズにできます。専用のルーズリーフの追加、差し替えができ、カバンの中で不意に表紙が開かないように表紙とリングに留め具がついています。

(2019年10月発売)



連結財務諸表

連結損益計算書 (単位: 百万円)



売上高

主に新型コロナウイルス感染症の影響により、前期比2.5%の減少となりました。

営業利益

売上高の減少により、前期比11.6%の減少となりました。

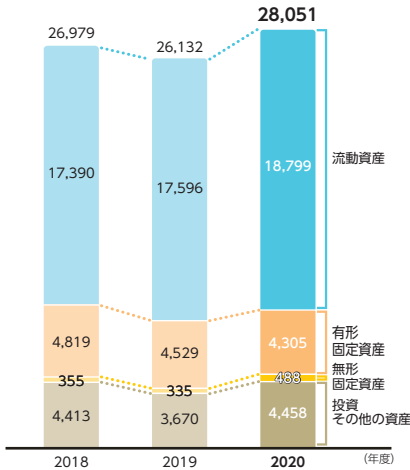
親会社株主に帰属する当期純利益

固定資産売却益の計上により、前期比12.3%の増加となりました。

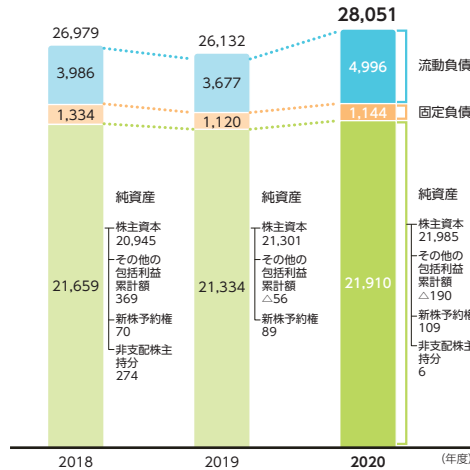
※ 括弧内は対前期増減額

連結貸借対照表 (単位: 百万円)

資産の部



負債・純資産の部



資産

19億1千万円の増加。主に現金及び預金や商品及び製品、関係会社株式の増加等によるものです。

負債

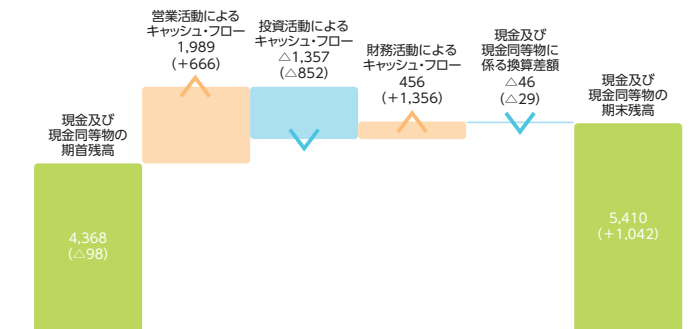
13億4千万円の増加。主に短期借入金や支払手形及び買掛金が増加したこと等によるものです。

純資産

5億7千万円の増加。その他有価証券評価差額金が減少した一方で、利益剰余金が増加したこと等によるものです。

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、2018年度に係る総資産については、当該会計基準を遡って適用した後の数値となっております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)



※ 括弧内は対前期増減額

営業活動によるキャッシュ・フロー

主に税金等調整前当期純利益や減価償却費によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

主にウインセス(株)の株式の取得に伴う子会社株式の取得や有形固定資産の取得による支出によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

主に運転資金需要による短期借入金の純増額によるものです。

会社概要

(2020年6月20日現在)

会社概要

商号	株式会社キングジム KING JIM CO., LTD.
創業	1927年4月
設立	1948年8月
資本金	19億7,869万円
従業員数	連結2,239人、個別400人

役員

(2020年9月17日現在)

代表取締役社長	宮本 彰
取締役 専務執行役員 (経営企画部担当 兼 監査室担当 兼 ウインセス株式会社担当)	萩田 直道
取締役 常務執行役員 (管理本部長)	原田 伸一
取締役 常務執行役員 (開発本部長 兼 広報室担当)	亀田 登信
社外取締役	恩藏 直人
社外取締役	高木 暁子
社外取締役	垣内 恵子
社外取締役	廣川 克也
常勤監査役	清水 和人
社外監査役	太田 美奈
社外監査役	丹羽 武司
上席執行役員 (調達物流本部長 兼 品質管理部担当 兼 EC事業部担当 兼 国内子会社統括部担当)	高野 真
上席執行役員 (営業本部長 兼 営業統括部長 兼 CS部担当)	岩田 健
上席執行役員 (海外事業本部長 兼 海外販売系子会社担当)	井上 拓人
執行役員 (経理部長 兼 情報システム部担当)	金子 英俊
執行役員 (調達物流本部副本部長 兼 海外生産系子会社担当)	神崎 司
執行役員 (経営企画部長)	河村 広
執行役員 (株式会社ラドンナ取締役社長)	田村 淳也
執行役員 (EC事業部長 兼 国内子会社統括部長)	立石 幸士

拠点

本社

①東京都千代田区東神田二丁目10番18号

営業拠点

- ②東京支店 (東京都千代田区)
- ③名古屋支店 (愛知県名古屋市)
- ④大阪支店 (大阪府大阪市)
- ⑤福岡支店 (福岡県福岡市)
- ⑥札幌営業所 (北海道札幌市)
- ⑦仙台営業所 (宮城県仙台市)
- ⑧さいたま営業所 (埼玉県さいたま市)
- ⑨広島営業所 (広島県広島市)



物流拠点

- ⑩東京ロジスティクスセンター (東京都江戸川区)
- ⑪大阪物流センター (大阪府大阪市)
- ⑫福岡物流センター (福岡県福岡市)

グループ会社

株式会社ラドンナ
株式会社アスカ商会
株式会社ばん家具
ウインセス株式会社
P.T.KING JIM INDONESIA
KING JIM (MALAYSIA) SDN.BHD.
KING JIM (VIETNAM) Co.,Ltd.
錦宮 (上海) 貿易有限公司
錦宮 (香港) 有限公司
錦宮 (深圳) 商貿有限公司

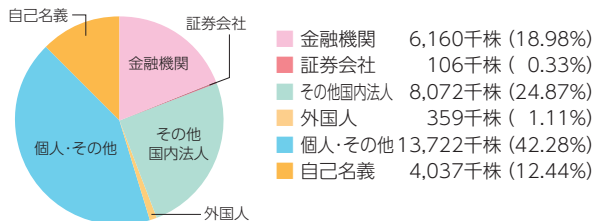
事業内容

室内装飾雑貨・キッチン雑貨・時計の企画、販売
造花 (アーティフィシャル・フラワー)・インテリア雑貨の輸入、企画、販売
インターネットによる家具の通信販売
工場作業手袋の製造、販売
クリアファイルを中心とした化成品ファイルの製造
キングファイル等用の金属製とじ具の製造
キングファイル等の製造、販売
文具事務用品の販売
電子製品機器等の販売および開発・調達関連業務の受託
電子製品機器等の販売および開発・調達関連業務の受託

株式の概要

発行可能株式総数	普通株式 100,000,000株
発行済株式の総数	普通株式 32,459,692株
株主数	37,439名

所有者別株式分布



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東京中小企業投資育成株式会社	2,139	7.53
株式会社三井住友銀行	1,376	4.84
株式会社三菱UFJ銀行	1,011	3.56
宮本 彰	958	3.37
株式会社ヨドバシカメラ	944	3.32
三井住友信託銀行株式会社	898	3.16
キングジム第一共栄持株会	859	3.02
有限会社メイフェア・クリエイション	853	3.00
株式会社エムケージム	841	2.96
宮本 恵美子	753	2.65

(注) 持株比率は、自己株式(4,037千株)を控除して計算しております。

株主メモ

- ・事業年度 毎年6月21日から翌年6月20日まで
- ・定時株主総会 毎年9月開催
- ・基準日 定時株主総会 毎年 6月20日
期末配当金 毎年 6月20日
中間配当金 毎年12月20日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- ・株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- ・株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) 0120-782-031 (フリーダイヤル) (インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
- ・公告の方法 電子公告(当社のウェブサイトに掲載する方法により行います。)ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。当社ウェブサイト <https://www.kingjim.co.jp/>
- ・単元株式数 100株
- ・上場金融商品取引所 東京証券取引所
- ・証券コード 7962

株主優待

毎年6月20日現在の株主名簿に記録された所有株式数に応じて株主優待品を年1回贈呈しております。

所有株数	優待内容
1,000株以上	5,000円相当の当社またはグループ会社商品
100株以上1,000株未満	2,500円相当の当社またはグループ会社商品

株主インフォメーション


住所・氏名変更、 単元未満株式の買取・買増等について

証券会社に口座を開設されている株主様

→株主様が株式を保有されている証券会社でお手続きください。

証券会社に口座を開設されていない株主様

→三井住友信託銀行 証券代行部へお問い合わせください。

 0120-782-031

未払配当金のお支払について

→三井住友信託銀行 証券代行部へ申し出てください。

 0120-782-031

ユーザーコミュニケーション

当社は、公式ウェブサイトや各種ソーシャルメディアを利用したプロモーションや企業活動の告知を行っております。

お客様、投資家を含めたステークホルダーの皆様との双方向の関係づくりを目指し、日々コミュニケーションの充実に努めてまいりますので、ぜひ、株主の皆様も様々な形で当社に触れてみてください。

公式ウェブサイト



<https://www.kingjim.co.jp/>

公式Twitterアカウント



@kingjim

公式Facebookページ



<https://www.facebook.com/kingjim.pr/>

KING JIM

株式会社キングジム

〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目10番18号
<https://www.kingjim.co.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



本書は、植物油インキを使用して印刷するとともに、
針金を使わず「ECO綴じ」にて製本しています。